



ふじあさみ

国土交通省中部地方整備局では、「旬な現場」と題し、普段はなかなか目にすることのない、工事現場や施設見学をする企画を行っています。

富士砂防事務所では、富士山山麓で行っている「風祭第1砂防えん堤工事」「大沢川遊砂地」と静岡市由比地区で行っている「地すべり対策工事」をとりあげて、見学者の受け入れを行っています。

おおさわがわゆうさる
大沢川遊砂地



フォーカス

旬な現場

～見えない場所で作る大事なモノ～



かざまつり
風祭第1砂防えん堤工事



地すべり対策工事

※個人での見学は対応できません。

富士砂防事務所で行っている工事は、主に大きく2つあります。富士山麓の「砂防工事」と由比地区の「地すべり対策工事」です。

これらの工事では、私たちの人命、財産を守る上でとても大事なモノをつくっていますが、工事期間中はもちろん、完成後も一般の方の目に留まることが少ない場所にあります。

今回、「風祭第1砂防えん堤工事」と「地すべり対策工事」にフォーカスをあてて、普段見ることのない工事を紹介します。

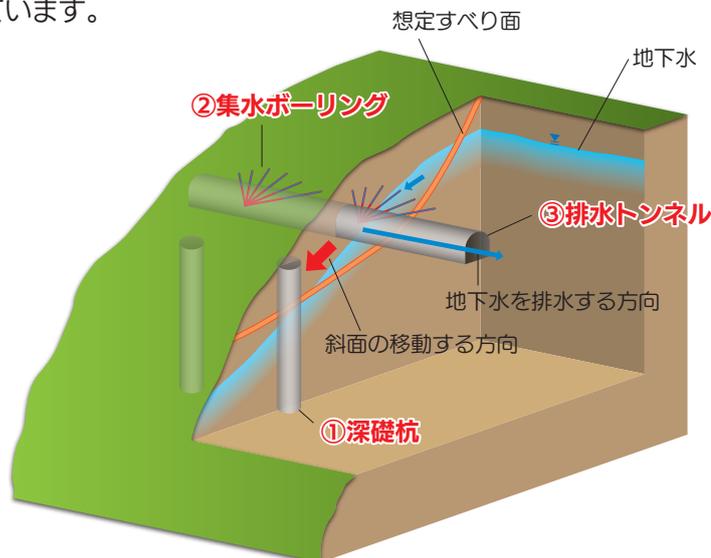
由比地区地すべり対策工事



由比地区地すべり対策工事は、土の中にコンクリート杭を作る「深礎杭」やトンネル内での工事（「排水トンネル」、「集水ボーリング」など）があります。現在、施工している工事は、全て土の中で行われている工事であり、普段、見る機会がありません。

由比（サッタ峠）から望む景色は、歌川広重の「東海道五十三次 由井（薩埵嶺）」にも描かれるほどの絶景ですが、過去に地すべり災害が発生したことがあります。今後、同様な地すべりが発生した場合、国道1号、東名高速、JR東海道本線といった東西を結ぶ重要交通網に大きな被害を与えてしまいます。

そのため、平成17年度から、豪雨や地震に伴う大規模な地すべりによる災害を未然に防ぐため、地すべり対策事業を実施しています。



コンクリートの杭を作ることにより、地すべりにより移動しようとする斜面を押し込みます。



地下水が地すべりの原因となるため、トンネル内から穴を掘り、地すべり内の地下水を集めます。



地すべりの原因となる地下水を排水するトンネル。集水ボーリングにより集めた地下水を地表へ排水します。

風祭第1砂防えん堤工事

風祭第1砂防えん堤工事は、富士山スカイラインから西へに入った、風祭川上流の森の中で行われているため、知っている方は少ないのではないのでしょうか。

富士山山麓は、八百八溪と言われるほど、たくさんの溪流があり、雪解けや大雨の時期には、土砂を大量に含んだ水が激しく流れることがあります。この土砂は、下流の河川に溜まり、過去に洪水などの土砂災害を引き起こしてきました。

砂防えん堤とは、この土砂災害を防ぐためのもので、ダムで水を溜めるように、土砂を溜めるための施設です。

ここで土砂をとめ、下流にある人家、小学校などの公共施設、主要地方道などを守ります。

風祭第1砂防えん堤は、平成26年度よりソイルセメントという工法で工事に着手し、平成27年12月の完成に向けて工事を進めています。



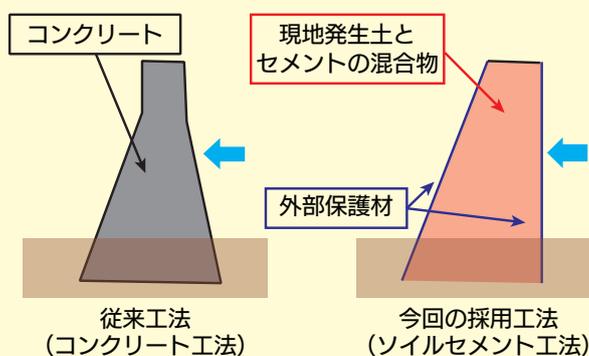
風祭第1砂防えん堤工事

砂防ソイルセメント工法とは

ソイルセメント工法とは、土砂にセメントを混ぜることで、土とコンクリートの中間の性質（強度など）の材料をつくる工法です。

コンクリートと違い、流動性が少ない（ドロドロしていない）材料のため打設後すぐに、バックホウや振動ローラにより敷均し・転圧ができ、工事期間を短縮します。

また、えん堤をつくる際に出る土砂を有効利用できるため、コスト削減を図ることができます。



掘削状況 (現場発生土)



現地発生土砂とセメントの攪拌状況



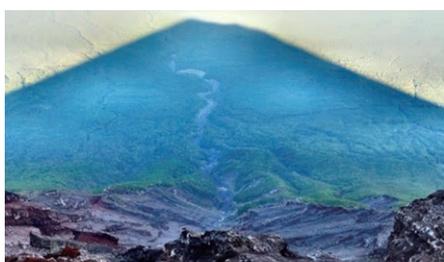
敷均し・転圧の状況

ズームアップ

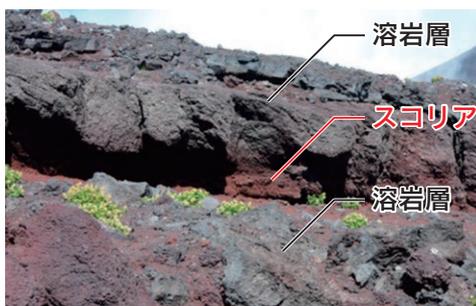
事務所日誌

調査課

8月6日、7日に富士山源頭域調査を実施いたしました。土石流発生源である大沢崩れの発端を現地にて確認し、崩壊現象原因箇所（溶岩とスコリアの互層）を調査しました。



山頂からの大沢崩れと影富士



溶岩とスコリアの互層 富士山を含む成層火山の特徴

調査当日は天候に恵まれはつきりと（写真参照）現場の様子を確認できました。



山頂で調査準備を行う事務所長

去る7月21日に、富士砂防事務所において、昨年度の工事、業務で優秀な成績を修めた業者に対して、表彰式を行いました。今回、表彰を受けた受注者様の代表として、市川土木株式会社から、当時の苦労話を頂きました。

この度、由比地すべり対策事業の一環として、深礎杭を担当しました市川土木株式会社湯川重太と申します。

私からは、本工事を事故0にするために行った工夫した点について述べてさせていただきます。

本工事の特徴は、準備段階から完了まで約1年半という長丁場であり、また、由比地すべり対策事業への注目度は高く、現場見学会などのイベントが多いことです。そのため、「気の緩み」に起因する事故を第一に、常に意識を持ち対策を講じました。

作業時や見学会の際、当現場を分かり易く安全に見ていただける様、掲示物の工夫や、少しでも安全にかつ快適に仕事ができるようアイデアを出し合い、実行していき、いつでも安全に作業・見学できる態勢を整えるようにしました。

工事完成まで計6回の見学会・研修会などを開催し、普段の工事では感じられない良い緊張感を持続させる事ができ、結果として現場全体の集中力が持続され、無事故無災害にて完成できました。今回の経験を生かし、「現場をより安全に、より快適に！」をモットーに若者離れしてきている建設業へのイメージアップにも貢献していきたいと強く感じております。

最後にこの場をお借りして、当現場を含め由比地区全体工事へのご理解ご協力を頂きました地権者様をはじめ地元住民の方々に対して深く御礼申し上げます。



県立島田工業高校現場見学会（平成26年5月23日）

information information お知らせ information information

イベント予定

10月3日(土) かりがね祭り

河川愛護意識の高揚を図る「かりがね祭り」に、富士砂防事務所も参加をします。

富士山と富士川の展示コーナーにて、火山としての富士山や土砂災害の模型を展示し、富士砂防事務所の事業を紹介する予定です。

10月24日(土) 由比地すべり親子見学会

静岡市清水区内の小学校を対象に、親子見学会を開催します。由比地区地すべり対策工事の深礎杭、排水トンネルを見学します。

10月31日(土) 富士砂防親子見学会

富士宮市内の小学校を対象に、親子見学会を開催します。大沢川遊砂地や風祭第1砂防えん堤を見学します。

イベント報告

8月24～28日 キャンプ砂防

「キャンプ砂防in富士山2015」を実施しました。大学生3人を富士砂防事務所へ迎え、現場見学や体験学習を通して、砂防事業の役割、防災対策の在り方等を学んでいただきました。



7月15日(水)

富士山火山防災訓練

富士山五合目駐車場にて、関係機関と共に、訓練に参加しました。

訓練では、情報伝達訓練の他、災害対策車やパネル展示により、火山防災に関する啓発活動を行いました。



●ご意見・ご感想・ご質問など、お気軽にお寄せください。

国土交通省中部地方整備局 富士砂防事務所

〒418-0004 静岡県富士宮市三園平1100 TEL 0544-27-5221 担当/調査課

URL <http://www.cbr.mlit.go.jp/fujisabo/> E-mail fujisabo@cbr.mlit.go.jp

■富士宮砂防出張所 〒418-0103 静岡県富士宮市上井出1321-9 TEL 0544-54-0236

■由比出張所 〒421-3211 静岡県静岡市清水区蒲原新田2丁目16-8 TEL 054-389-1202

★現場見学などについては、富士砂防事務所HPの「富士砂防現場見学と出前講座」の欄をご覧ください。

「ふじあざみ」に掲載している内容・データ等は、現時点までに得ている調査結果を基本にしています。今後の調査等の進展により、内容の一部または全部に変更が生じる場合もあります。